

ウィードロック®

®は丸和バイオケミカルの登録商標です。

ゴルフコースの雑草に**高い効果**を発揮する**新除草剤**

● 包装/12×12



成分・性状・毒性等

成分 3,5-ジニトロ-N4,N4-ジプロピルスルファニルアミド（一般名オリザリン）…………… 15.0%
水、界面活性剤等……………85.0%

性状 黄赤色水和性粘稠懸濁液体

安全性

人畜毒性 LD₅₀ ラット・マウス 5,000mg/kg

魚毒性 LC₅₀ コイ 1,000mg/ℓ
EC₅₀ オオミジンコ 3.3mg/ℓ

特 長

幅広い適用性

スズメノカタビラやメヒシバ等の一年生イネ科雑草及び一年生広葉雑草に対して安定した残効性を有します。（一部のキク科マメ科雑草には効果が劣る）

安定した除草効果

ジニトロアニリン系の土壌処理型の除草剤の中では飽和蒸気圧はきわめて低く、安定した持続力を発揮します。

芝生への高い安全性

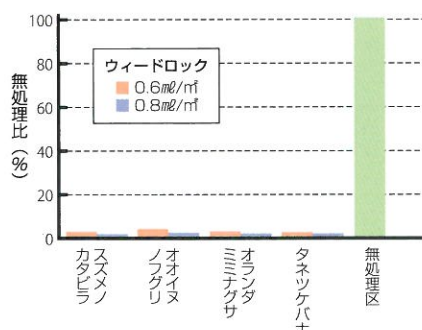
ターフの形成した日本芝に対して、高い安全性を有し、萌芽期でも安心して使用できます。（張芝地やターフ形成が未熟な場所では薬害の恐れがあるので使用は避けてください。）

殺草メカニズム

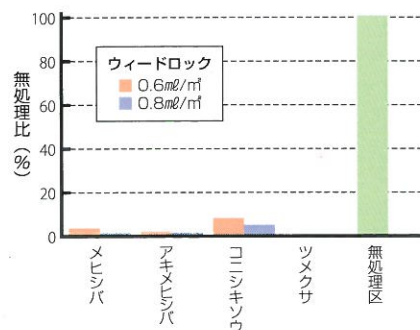
ウィードロックの有効成分であるオリザリンは、散布後、土壌表層に薬剤処理層を形成します。雑草の種子が発芽する過程において、種子の幼芽部、幼根が薬剤処理層に触れると、オリザリンは接触部位より吸収され、植物体内において細胞分裂阻害作用により雑草を枯死に至らしめます。

試験成績（日植調委託試験）

2008年・2009年秋冬作 コウライシバ・ノシバ集計



2009年・2010年春夏作 コウライシバ・ノシバ集計



試験事例（圃場試験）

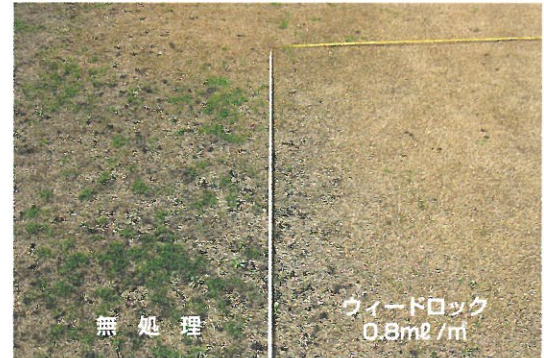
スズメノカタビラに対する残効性

2009/10/9処理 2010/3/12調査（+154日）

- 試験場所／関東ACC フェアウェイ
- 処理日／2009年10月9日 ■散布水量／200ml/m² ■展着剤なし
- 対象雑草／スズメノカタビラ発生前（自然発生、発生量多）
- 土壌条件／埴壌土 サッチ中程度 水はけ悪し

調 査 日		2009/12/12 〈+64日〉	2010/1/15 〈+98日〉	2010/3/12 〈+154日〉
ウィードロック	0.6ml/m ²	◎	◎	◎～○
	0.8ml/m ²	◎	◎～●	◎～●
A剤	0.4ml/m ²	△	△	△～×
	0.6ml/m ²	◎	○～◎	○
B剤	0.08g/m ²	◎	○～◎	○

●…極大 ◎…大 ○…中 △…小 ×…効果なし



一年生に対する残効性

2009/9/17処理 2010/3/18調査（+182日）

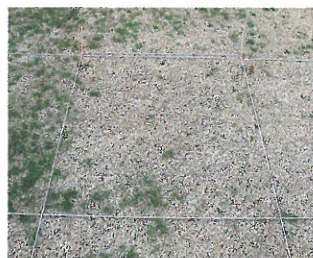
- 試験場所／新中国グリーン研究所 圃場内 フェアウェイ様管理
- 処理日／2009年9月17日 ■散布水量／200ml/m² ■展着剤なし
- 対象雑草／スズメノカタビラ・オランダミミナグサ発生前（自然発生、発生量大）
- 土壌条件／壤土 サッチ厚め

対 象 雑 草		スズメノカタビラ			オランダミミナグサ		
処 理 日		2009/9/17			2009/9/17		
調 査 日		2009/12/18 〈+92日〉	2010/1/26 〈+131日〉	2010/3/18 〈+182日〉	2009/12/18 〈+92日〉	2010/1/26 〈+131日〉	2010/3/18 〈+182日〉
ウィードロック	0.6ml/m ²	◎～●	◎～●	◎	●	◎～●	●
A剤	0.4ml/m ²	◎～●	○～◎	△～○	●	●	◎～●
B剤	0.12g/m ²	◎	○～◎	△～○	◎～●	●	●
C剤	0.5g/m ²	◎～●	◎	○	●	●	◎～●

●…極大 ◎…大 ○…中 △…小 ×…効果なし



■ウィードロック 0.6ml/m²



■A剤 0.4ml/m²



■B剤 0.12g/m²



■C剤 0.5g/m²

現地混用試験事例（圃場試験）

2009/9/25処理 2010/4/13調査（+200日）

- 試験場所／関東地区Bゴルフ場 フェアウェイ及びラフ
- 試験日／2009年9月25日
- 調査日／2010年4月13日
- ウィードロック0.6ml/m² + アトラクティブ0.03g/m²
- 散布水量／200ml/m²
- サーファクタントWK 2,000倍加用

アトラクティブとの混用により翌春までスズメノカタビラ及び広葉雑草を抑えることができます。



アトラクティブ混用区



比較対象区

適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当りの使用量		本剤の使用回数	使用方法	オリザリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝 (生産圃場、ゴルフ場)	一年生雑草	芝生育期 雑草発生前	600~800mℓ	200~300ℓ	2回以内	全面 土壌散布	2回以内

効果・薬害等の注意

- 所定のおおよそ半量の水に本剤を加え、残りの水を加えながらよくかきまぜてから散布してください。また薬液調製後はできるだけすみやかに散布してください。
- 本剤は攪拌機付の大型散布機（タンク車など）で攪拌しながら雑草の発生前に均一に散布してください。
- 既に発生した雑草には効果が劣るため、雑草の発生前に使用してください。
- 植付後、十分芝が活着するまでは薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。又、異常気象等によりターフの形成が不良な芝地での使用をさけてください。
- ベントグラスに高い感受性を示すので、ベントグラス周辺の散布では、薬液の飛散や、ベントグラス芝地内への流れ込みがないよう特に注意してください。
- 周辺の作物や樹木に薬剤がかからないように注意して散布してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また、使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください（刺激性）。
- 皮ふに付着しないように注意してください。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください（刺激性）。
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は散布作業をしないでください。施用した作物などに触れないでください。
- 芝に付着した薬液が乾くまでは、散布に関係ない者が散布区域内に立ち入らないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮してください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 散布の際は散布に関係のない者が作業現場に近づかないよう配慮してください。
- かぶれ等を生じた場合には医師の手当を受けてください。
- 空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

魚毒性等

散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管

密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光のあたらない子供の手の届かない冷涼な所に保管してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届くところに置かないでください。

ユニカスは日本ジュニアゴルフフェー育成協議会（JGC）を応援しています。

■お求めは…

■販売元

MBC 丸和バイオケミカル株式会社
ユニカス事業部

■本社／〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
☎03-5296-2340 <http://www.mbc-g.co.jp>
■札幌／☎011-222-2305 ■仙台／☎022-261-1319
■名古屋／☎052-951-7235 ■大阪／☎06-6371-3126
■福岡／☎092-712-8330

お問い合わせ窓口／☎03-5962-9731（平日9:00~17:00祝祭日を除く）